

第一回市民共創知研究会 報告書

人工知能学会 市民共創知研究会

研究会の目的

研究会目的

研究会開催地域のコミュニティに積極的に働きかけ、中高生や高齢者を含む市民と研究者との共創を試行する場を提供し、学術研究として広く国内外に発信する場を提供する。さらに、地域横断的あるいは組織横断的に方法論を共有し横展開する等の取り組みや、地域や組織を超えたより大きな集合知に繋がる協働・共創の取り組みを目指す。

取り扱う研究分野の範囲（キーワード）

- 実フィールドに根差した形での技術の実社会応用
- 共創を実現するためのコミュニケーション支援技術や合意形成支援技術
- 大きな集合知に繋がるような地域横断的な取り組み
- 生物の個体群が創発する集合知、自律エージェント群が創発する集合知等

他にも、社会における集合知・社会知に関連するトピックとして、Sharing Economy, 合意形成, 市民参画, ゲーム理論, フリーイノベーション, オープンイノベーション, クラウドソーシング, シビックテック, オープンデータ, オープンサイエンス, オープンガバメント, スマートシティ, オンラインコミュニティ, マルチエージェントシステム, 社会ネットワーク分析, 自動交渉, IoT/M2M, WWW, オーケストラ, 高齢者介護, 社会選択理論, グループ意思決定, 地域学, 観光学, 社会心理学, 社会学, 経済学, 行動経済学, 文化経済学, 心理学, 倫理・法律, その他の科学・学術等の社会課題応用 に関する共創的な事例を取り扱う。

また、企業等組織内における組織開発、教育、マーケティング、製品開発等の組織における共創知に関する事例も含む。

プログラム

11/25(金)	13:30～	<u>地域を知るフィールドワーク</u> <ul style="list-style-type: none"> 全員参加 <ul style="list-style-type: none"> 遠野市立博物館 遠野伝承園・カップ淵 コース別 <ul style="list-style-type: none"> 馬 (馬の里) 陶芸 (薬師寮) 食 (風の丘) 郷土芸能 (婦人の家) 	1	<u>地域について知る</u>
	18:00～	<u>民泊</u>		
11/26(土) In 遠野ふるさと村	9:00～	オープニングトーク (名古屋工業大学 伊藤孝行教授)	2	<u>参加者について知る</u>
		ウェルカムトーク (遠野市 飛内雅之副市長)		
		チェックイン		
	9:55～	<u>発表・対話セッション</u> > 発表者による対話と、発表内容に対する対話を行う		
	11:20～	<u>昼食, 飯豊神楽・語り部鑑賞</u>		
	12:35～	<u>子ども語り部</u>		
	13:05～	<u>発表・対話セッション</u>		
	17:55～	<u>ディナーセッション</u>		
11/27(日) In 遠野ふるさと村	9:00～	チェックイン	3	<u>共創プロジェクトを創る</u>
		コンテスト説明		
	9:25～	<u>共創対話セッション, 発表</u>		
	11:15～	表彰式		
研究会後		<u>BSF(Baby Step Fes)</u> <u>コンテスト (市民共創知コンペティション)</u>		

実施の様子

① 地域について知る (フィールドワーク, 民泊)



遠野市立博物館



遠野伝承園, カッパ淵

実施の様子

① 地域について知る (フィールドワーク, 民泊)



食



陶芸



馬



郷土
芸能

実施の様子

① 地域について知る（フィールドワーク，民泊）



民泊



実施の様子

2 参加者について知る（発表・対話セッション）



会場



オープニング

実施の様子

2 参加者について知る (発表・対話セッション)



地域



大学



企業



デモ

発表

実施の様子

2 参加者について知る (発表・対話セッション)



対話セッション



ランチセッション



ディナー
セッション

実施の様子

3 共創プロジェクトを創る (共創対話セッション)



テーマアップ



対話



発表

実施の様子

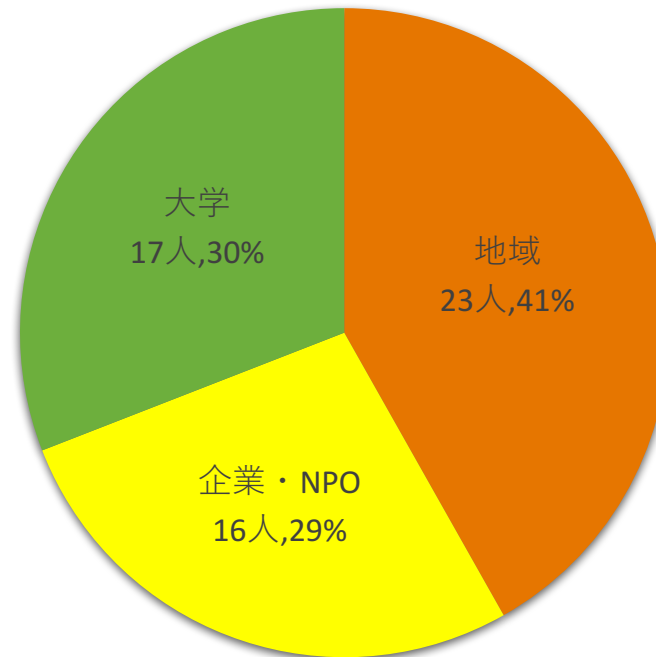
3 共創プロジェクトを創る（共創対話セッション）



表彰式

参加・関係者

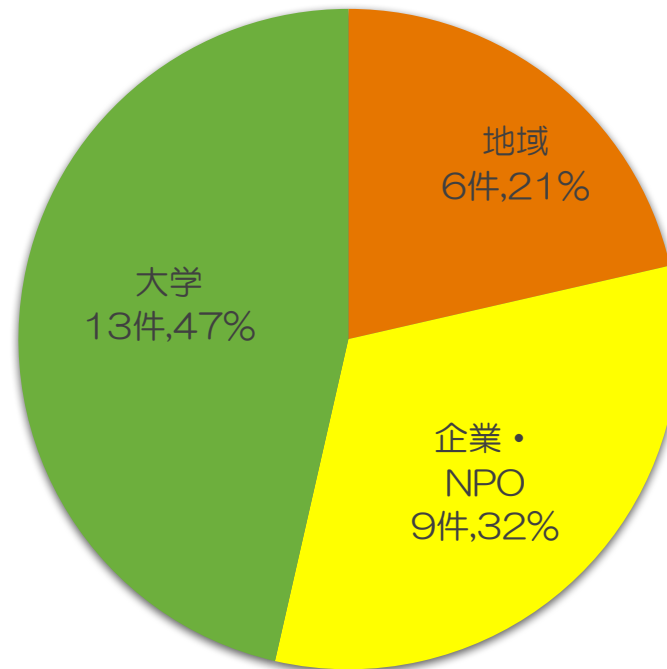
- 19組織(2地域, 10大学, 6企業, 1NPO)から56名の参加
- 参加者内訳：地域 23人, 大学 17人, 企業・NPO 16人
- その他関係者 10名, 支援者 29名, 総計95名



参加者内訳

発表

- **28件**の発表
- 発表テーマ：農業，神楽，地域教育，AI，集合知，センシング，オープンデータ，組織変革・運営，観光，サードプレイス，商品企画，SNS，まちづくりなど

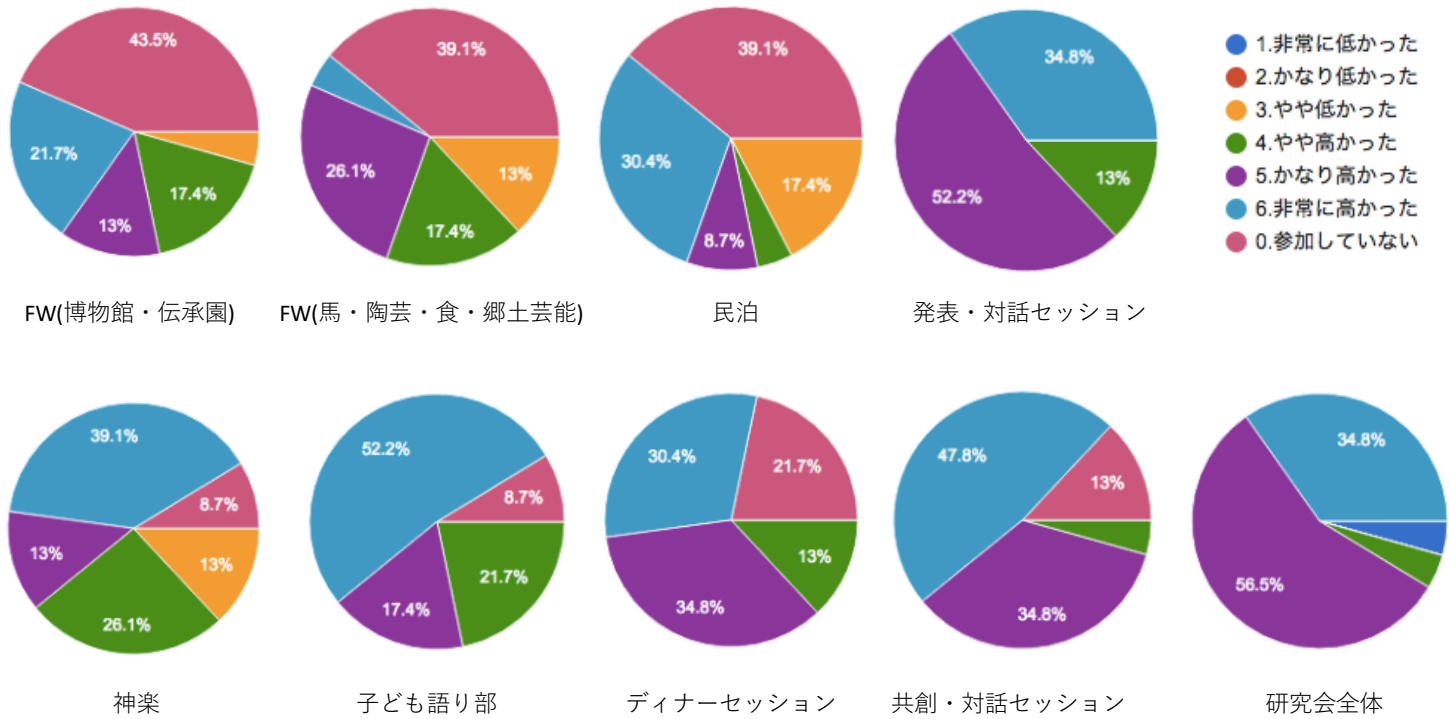


発表者割合

受賞者

- 地域4件，大学2件，企業2件（共同受賞含む）
 - ✓ 市民共創知奨励賞：田中克明（大学），水谷美由起（企業），児島永作（企業）
 - ✓ ベストプレゼンテーション賞：藤原愛衣（地域，高校生），遠野緑峰高校（地域，高校生）
 - ✓ ベストイシュー賞：大森友子・一ノ瀬修吾（地域・大学）
 - ✓ 最優秀市民共創知賞：太田由紀子（地域）

事後アンケート結果



地域の反応

➤ 事後アンケートより抜粋

- 同じ課題を抱えている人と知り合いになれ、多角的な視野を得ることができる。
- 他業種の考えを伺うことで、これからの発展に期待がもてることが分かった、外部の客観的な見方が、我々の刺激になった。
- 一つの目標に向かって取り組む姿勢を感じた。
- 生徒の成長を感じた。遠野のホップ農家をなんとかさせたいという思いを再認識できた。
- 高校生や中学生も参加しやすいようにしてほしい。何人か常に中高生がいるようにしたり、出入りしやすく、セッションの移動がしやすい工夫があると参加のハードルは低くなると思う。
- 研究会発表後の情報交換の際、進行役を決めておくとも高校生がスムーズに話しくなると思います。

➤ 高校生の声

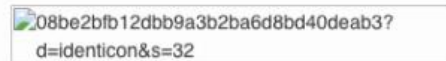
- 高校生では普通できない体験もできよかったです。発表では、大学レベルのプレゼンを聞けて、とても勉強になりました。論文も発表会も見えない状態からスタートしましたが、中学の時のように新しいことをやっているという実感が持てて、ちょっと大変でしたが楽しかった気持ちもあります。今後はプロジェクトもやっていきたいです。

生成した共創プロジェクト

- **6件**の共創プロジェクト



遠野らしい学びの場を創る



Fuji

岩手県遠野市に中高生の新たな学びの場をつくる。自習の場所と、体験活動やアクティブラーニングが行える場所...

10 応援者 4 参加者 1 やること



スーパーアグリ構想



ichinose

農業を科学して次世代の農業につながる技術を生み出したい。たとえば、農作業での体の使い方。鉄の使い方ひと...

8 応援者 6 参加者 1 やること



MiraiLabの開発と運用



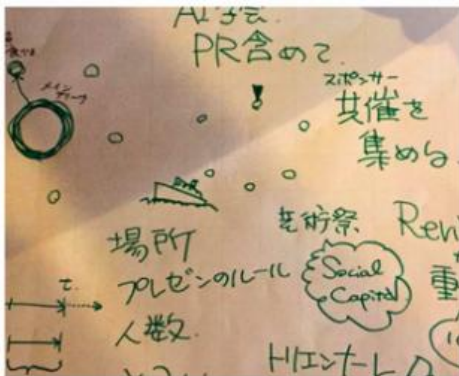
あきひさ

1つのプロジェクトを集合知によって支援するシステム。1人ではプロジェクトを成功させられないかもしれない...

6 応援者 3 参加者 1 やること

生成した共創プロジェクト

- **6件**の共創プロジェクト

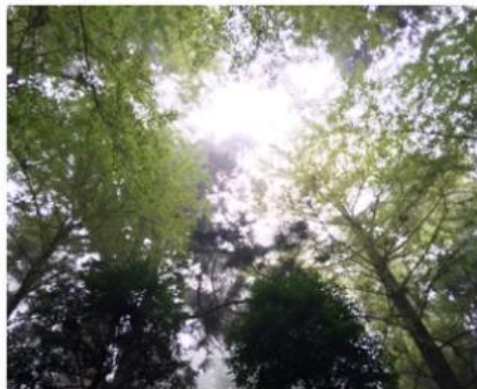


共創のための舞台をつくる ~次回研究会に向けて~



「第2回研究会の舞台を最高の共創の場にするには」ものすごく具体的で時間も限られているテーマではあり...

👍 応援者 8 🙋 参加者 5 📄 やること 1



みらい創りの仲間づくり



みらい創りの仲間と繋がり続け、輪を広げていきたいです。

👍 応援者 5 🙋 参加者 1 📄 やること 0



新しい働き方をレシピ形式で集約する方法の提案

[Fc0d522b0a3a8f31986698a8fdbbdec6?d=identicon&s=32](https://www.flickr.com/photos/ikeko/1522222222/)

seki

多様なライフスタイルを反映した働き方に対応できる職場が望まれている一方で、従来の働き方の制約に基づき仕事が...

👍 応援者 3 🙋 参加者 0 📄 やること 0

生成した共創プロジェクト

- 各共創プロジェクトの参加者・応援者数（複数登録可，20161209時点）

共創プロジェクト	参加者数	応援者数
遠野らしい学びの場を創る	4	10
スーパーアグリ構想	6	8
MiraiLabの開発と運用	3	6
共創のための舞台をつくる ～次回研究会に向けて～	5	8
みらい創りの仲間づくり	1	5
新しい働き方をレシピ形式で 集約する方法の提案	1	4
計	20	41

BSF

- 共創プロジェクトを小さく進めるためのイベント Baby Step Fes (BSF) を開催

BABY STEP FES #1

PRESENTED BY
SIG-CCI(市民共創知研究会)



第一回市民共創知研究会をきっかけに、複数の社会的価値の高い共創プロジェクトが生まれました。

これらのプロジェクトは、実際に活動を進め、成果を出すことによって、さらに価値が高まります。

そこで、みんなで共創プロジェクト実現に向けて一歩を踏み出すイベントを開催します。研究会参加者全員で、共創プロジェクトを前進させましょう。

- 日程：1/15周辺
- 場所：プロジェクトオーナーの方にお任せします
- 参加者：第一回研究会参加者およびその関係者
- 方法：
 1. プロジェクトを進めるための活動を行います。活動内容は何でも結構です。
 2. 活動結果を、みらいらぼ(<https://mirai-making.herokuapp.com/>)に投稿しましょう。写真・映像・データなど何でも結構です。みらいらぼへの投稿が難しい方は、市民共創知研究会のメールアドレス(cci-participants-all@itokab.nitech.ac.jp)宛に送付してください。

コンテスト

- コンテスト開催中（～2016/3/15）
- <https://mirai-making.herokuapp.com/home/contest>

MiraiLab

コンテスト / Contest

応募する

賞名

- 市民共創知コンペティション

募集テーマ

- 多様な関係者の連携によって生まれた、社会的価値が高い共創プロジェクトを募集します

応募資格

- 過去に参加された方もしくは次回発表予定の方なら、どなたでも応募可能です

賞

- 賞：ベスト共創プロジェクト賞
- 副賞：第二回研究会におけるinvited speakerの権利
- 賞金：1万円

審査員

- 過去研究会参加者

審査方法

- 過去の研究会参加者による投票（一人一票）で決定します
- チームでの応募の場合、賞はチームに対して、副賞は代表者に対して贈られ

